

水道水のトラブルを解決します！

近年、水質に対する関心が高まり、市民の皆様から問い合わせをいただくことが増えました。そこで、問い合わせの多いものとその起こる原因などを紹介します。

Q 1 白い水が出る。(数秒後に透明になる)

原因 水道水をコップなどに勢いよく入れた時、下の方から徐々に透明になり白い濁りがなくなる場合は、空気が原因です。蛇口の上部から空気を吸い込みそれが細かな気泡になり、白く濁って見えます。また、給湯設備の場合も、水が急激に加熱され、水中に溶け込んでいる空気が放出され白く濁って見える場合があります。

対策 白濁の原因が空気による気泡であるため、放置することにより透明になります。また、水質異常によるものではなく、安全性に問題はありません。



Q 2 赤い水が出る。

原因 給・配水管内部の露出した鉄面がさび、水の滞留、水圧、水量の変化により水中にはく離した場合に起こります。

対策 しばらく水を流し、きれいになってから飲用にご利用ください。鉄は人体への吸収率が低く大部分が排出されるので通常の摂取量では問題はありません。また、短時間で赤い水が出なくなった場合は、宅内給水管に原因があると考えられますので配管などの交換が必要となります。



Q 3 塩素臭がする。

原因 水道水は衛生上、残留塩素濃度が0.1mg/l以上に保つよう法律で定められているため、残留する塩素によって塩素臭を感じる場合があります。濃度管理をしていますが、個人差により感じ方に多少の差が生じます。

対策 水道水が、病原菌で汚染されないよう塩素消毒されている証拠です。塩素濃度は人体に影響のないよう管理・調整しています。また、この臭いが気になる場合は、一度水を煮沸させてから、冷蔵庫で冷やすことで臭いを軽減できます。



Q 4 ガラス製容器に光る針状浮遊物がある。

原因 「フレークス現象」と呼ばれるものです。これは、水中のミネラル分であるマグネシウムとガラス容器のケイ酸が高温のお湯の中で反応し、ケイ酸マグネシウムとして表面に沈着し、お湯の使用後ガラス面が乾燥するということが繰り返されると、このケイ酸マグネシウムがはがれてフレークス(薄片)として水中に浮遊するために生じます。

対策 この現象が生じてしまった容器は、10倍に薄めた食酢を入れ、しばらく放置した後に、ブラシなどでよくこすり洗ってください。お湯を何回も注ぎ足して使用すると発生しやすくなります。なお、このフレークス(薄片)は、人体に吸収されないうえ、ミネラル分なので飲用しても影響はありません。

